

科目名	オーラルコミュニケーションB	学年	2年	コース	全	単位数	2	担当者	
-----	----------------	----	----	-----	---	-----	---	-----	--

1 目 標

「聞く」「話す」を中心とした言語運用の基礎的な能力を身につけると共に、コミュニケーション能力を高め、異文化を積極的に理解し、国際社会で活躍できるような資質を養う。

2 到達目標

- 自然な口調で話されたり読まれたりする内容を聞き取る。
- 自分の考えなどを整理して、相手にわかりやすく伝える。
- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- 外国事情等、国際社会にも目を向ける。

3 成績評価の方法

定期考査、提出物、積極的なコミュニケーションへの態度、授業への参加等を総合的に評価する

4 学習者へのメッセージ

- 家族や友達との会話から天気予報・ニュース等、日常生活で使われる会話を学習する。実際にその場にいると考えながら、日常会話が出来るように前向きに取り組もう。
- 相手に理解してもらうためには、まず自分の意見を整理し、言葉を確実に伝えなければならない。大きな声で堂々と言えるようになるう。
- 積極的に授業に参加しよう。口に出して言うことが一番の練習になる。間違いを恐れずに言うことを楽しむようにしよう。ただし、間違っただけではいけない。正しいことを覚える過程に意味がある。
- 単語を並べるだけの会話からきちんとした文が言えるようにステップアップを図る。また、内容のある話が出来ようになるために、常に自分の意見をまとめるように努める。その為に構文を集中して勉強することもある。
- 単語や表現を覚えるなど、会話であっても「覚え」なければならない。覚える努力をし、地道にコツコツと取り組んで、実力を付けよう。
- いろいろなトピックから国際社会にも目を向けよう。異文化を理解し、社会問題にも目を向ける。他の教科で学習することが英語を理解する上でも大いに役立つので、あらゆる知識を総合して考えてみよう。

5 使用教材

- 教科書「Progressive oral communication B」(尚学図書)
- 副教材「ステップアップ77」(エスト出版)

6 自己評価

- 1年間を振り返って到達目標を達成できたか、自己評価をして、今後の課題を明らかにしよう
- 到達目標 [] [] []
- 課 題

A：十分、達成できた。 B：だいたい達成できた。 C：努力が不足した。

7 年間授業計画

月	課	タイトル	重点目標
4	1	Meeting People	初対面の挨拶、自己紹介、職業、人名の聞き取り review & further studying
5	2	Fun and Interests	趣味、余暇の過ごし方、好き嫌い、職業に関する表現 review & further studying
6			
一 学 期 中 間 考 査			
6	3	School Life	授業科目、時間割、クラブ活動、試験に関する表現 review & further studying
7	4	House and Home	家や部屋の説明、家事分担、数字、位置の表現 review & further studying
一 学 期 期 末 考 査			
9	5	Shopping	品物、値段、支払い方法、お釣り、対応の表現 review & further studying
10	6	Friendship	友人を誘う、意向を尋ねる、頼み事、承諾、断りの表現 review & further studying
二 学 期 中 間 考 査			
11	7	Places	道順、位置の言い方、尋ね方の表現
12	8	Weather	晴雨、気温、台風など天気予報の表現 review & further studying
	9	Customs	習慣の違い、日米の習慣を説明する表現 review & further studying
二 学 期 期 末 考 査			
1	10	Food and Drink	食生活、料理の仕方、注文の仕方の表現
2	11	Health	病気やけが等病院や薬局での表現
3	12	Travel	空港、駅、バスターミナルでのアナウンス表現 review & further studying
学 年 末 考 査			